

M-Tech

第14回 機械要素技術展に出展しました!

(株)アルモ

藤田 修

機械要素技術展(M-Tech)にはNAZEグループで、4年連続4回目の出展をしました。

今年はNAZEと長岡中小企業受注促進事業推進委員会、長岡商工部と一体となった「長岡モノづくりゾーン」を形成しました。「長岡モノづくりゾーン」は、展示面積も大きく、業種も多種多様な長岡をアピールできたと思います。

また、長岡出展企業同士で相談に来られたお客様を紹介しあうなど、今までには無い素晴らしい対応が出来たと思います。

弊社ブース内では、昨年度の長岡市フロンティアチャレンジ補助金を活用して製作した『アルミ鋳物製マグカップ』を展示し、お客様に手にとってご覧頂きました。お客様の中には「私だったらこうする!」や、「もっとココをこうして……」などと熱く指導をしてくださる方もいました。

また、弊社の一番得意とするグラビティ鋳造法で製造した鋳造品「通勤電車の艦装品」も展示して、多くのお客様から弊社自体に興味を持って頂く事が出来ました。とても有意義な時間を得ることが出来た展示会だったと思います。

次回は出展コストの問題もありますが、新規販路拡大へ繋がる様に来年の5年連続5度目の出展を目指したいと思います。



(株)池田機工

池田真理子

弊社は、関東・関西機械要素技術展(M-Tech)に年2回出展しています。その中でNAZE共同出展の関東M-Techは3度目のチャレンジになります。

東京ビッグサイトで開催される展示会は来場者数も多く、かなりの企業宣伝効果や新規顧客開拓といったメリットがあるため、自社の定めた出展基準を満たしています。

また、毎年出展していることにより、出展者どうしの交流・情報交換が促進されたり、商談における販路が拡大されるなど大きな成果を得ています。

弊社は、毎年テーマを設定し、それに沿って陳列する展示品を作製しています。

展示品の作製を通じて、社員のモチベーションが向上することはもとより、作業チームワークが強化されることなど、出展する前と比べると、かなりの違いが見られ、社員教育の面において非常に有効だと感じています。

このように、弊社にとってM-Techは、マーケティング拡大と社員教育の場と捉えており、毎年出展するたびに大きな手応えと成果を感じています。

今後も弊社は、目標をもって継続出展していくつもりです。

※なお、(株)池田機工は、10月6日(水)~8日(金)までインテックス大阪で開催される第13回関西機械要素技術展に出展されます。



(株)鈴民精密工業所

鈴木将義

NAZEの共同出展としての参加は今回の機械要素技術展(M-Tech)出展で2回目となります。それ以前の単独出展ではブースのデザインも自社考案、もしくは外部への発注という形態でしたので、工数や経費がかなり掛かっていましたが、NAZE共同出展となり、展示品の準備に注力でき、集客面、出展経費面でも多くのメリットがありました。

今年のM-Techは昨年に比べ来場者数も多く、また、具体的な目的を持った来場者が非常に多かったように感じました。弊社の場合は様々な部品加工・熱処理を行っておりますが、メイン商品群である「刃物、カッター、メス」関連を中心に展示しました。ブース来場者の内、既存お取引先ではない新規来場者のほとんどのお客様が刃物についてのご相談案件をお持ちで、展示内容の狙い通りに新規顧客様情報が得られたと手ごたえを感じております。アピールしたい物を絞り込む事の重要性を実感した出展でした。

今後は得られた情報を元に新規顧客開拓をすると共に、現在お応え出来ない案件への対策を行って行きたいと考えております。



(株)丸栄機械製作所

岡部恒夫

今回、NAZEの共同ブースで初めて出展させていただきました。機械の展示会ではないため直接的な商品の展示というよりも、当社の特徴である「ユーザーニーズに対応した機械を開発する技術」をアピールすることに主眼を置き出展に臨みました。

今回は、卓上型の小型円筒研削盤と、弊社製研削盤に搭載している各種スピンドルを展示いたしました。機械自体の展示が少ないのと、コンパクトサイズの研削盤という珍しさを足止めていただくお客様も多く、出展内容としては成功だったと思います。会場では具体的な商談までは至りませんでしたが、この出展をきっかけにして、具体的な成果に発展できるよう努めます。

NAZEと長岡市受注促進委員会との統一感の取れた華やかな装飾もあり効果的な出展ができました。また商談スペースなど共有スペースも活用させていただくことができ、これだけでも大きな収穫と思います。

また、多忙の中、時間を割いて来場された森長岡市長からの応援、激励は会期中のパワーの起源となり感謝しております。当社としては、会場での商談成立はありませんでしたが、来場頂いた方々への今後のフォローを大切にしていきたいと思っております。



(株)大菱計器製作所

島津克吉

6月23日~25日に東京ビッグサイトで開催された第14回機械要素技術展(M-Tech)に出展しました。当社はJIMTOF他の見本市展示会には出展していますが、M-Techへは初めての出展でした。M-Techは同時開催の設計・製造ソリューション展、3D&バーチャルリアリティ展とて業界の春期最大の展示会といえるでしょう。今年は「長岡モノづくりゾーン」を形成し、長岡地域のモノづくりをアピールしました。その中の一員として出展でき、たいへん満足しています。

当初は製造業が厳しい経済環境下にある中で集客を懸念しておりましたが、そんな心配は無駄だったようで、初日からすごい人出で驚きました。昨年に比較して初日だけでも倍近い人出との事、先行きの明るさに期待感が持て、また来場者の情報吸収への力強さを感じた次第です。出展側の立場はこの様な流れをよりはっきりと感じることができ、これだけでも大きな収穫と思います。

また、多忙の中、時間を割いて来場された森長岡市長からの応援、激励は会期中のパワーの起源となり感謝しております。当社としては、会場での商談成立はありませんでしたが、来場頂いた方々への今後のフォローを大切にしていきたいと思っております。



中越鋳物工業協同組合

加藤正樹

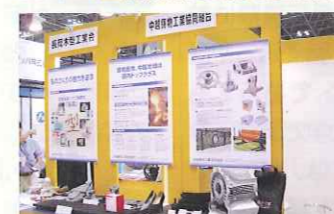
当組合は去る6月23日から25日にかけて東京ビッグサイトで開催された第14回機械要素技術展(M-Tech)に長岡中小企業受注促進事業推進委員会の共同出展枠で出展させていただきました。

これだけネームバリューのある展示会への出展は今回が初めてであり、実働部隊である中越鋳物青年研究会たちは、何を展示するか迷ったあげく銑鉄鋳物で造ったハイヒールを目玉に、展示に同意していただいた組合員の鋳物を並べることにしました。

展示会の会場ブースで、ネオスさんから何度も校正し作成していただいたパネルの前に、「どれが一番見ていただきたいか、どうしたら通過する人から少しでも足を止めていただくか」を工夫し、鋳物と各社のカタログを並べ準備しました。

展示会では親組合の理事・事務局・青年研究会の会員が交替で現場に張り付き、長岡市受注ガイドブック・NAZEのパンフレット・組合員のカタログ等を3日間配りました。長岡地区を中心とした「中越鋳物」をアピールしたことが、いろいろな面で将来の財産になれば期待しております。

この度このような機会を与えていただきました長岡市をはじめとする行政関係の皆様方、周辺でご協力いただき支えてくださったスタッフの皆様方に改めて感謝申し上げます。



テラノ精工(株)

橘 和希

第14回機械要素技術展(M-Tech)の最終日に参加させていただきました。今回のM-Techが私にとって初めてのビッグサイトだったので、何日も前から私が行って出来ることはなんだろう、と不安でいっぱいでした。ブースでうちを配っていてもなかなか会場の雰囲気馴染めないでいたところに、「あなたのこと何処かで見たことがあると思ったらテラノさんのブースでした」とお世話になっているお客様から声をかけていただきました。お会いしたことは数えるほどしかないのですが、覚えていただいていたことが本当に嬉しかったです。私自身、加工の事をよく解らずに参加していた事が一番の不安だったのかもしれませんが、自社の長所を積極的にアピールするためにも、もっともっと知識を身につけ、戦力になれるように頑張りたいと改めて思いました。

せっかくの機会なので3D&バーチャルリアリティ展の生産管理ソフトの紹介ブースも見学してきました。現場の加工者は、生産コストを抑えるために効率を上げる努力を日々積み重ねています。事務所で図面をまわす私のところでのロスタイムをどうやって短くしていくかが今後の課題だと思いました。すぐに答えは出せないかもしれませんが、最善の方法を探すためにじっくりと勉強していこうと思いました。



Topix 1

「長岡モノづくりゾーン」が東京ビッグサイトに出現

例年のNAZEブースのおよそ2倍の大きさで、長岡のモノづくりを全国にアピールしました。全国からのお客様と熱心に商談をする光景が多く見られました。



Topix 2

M-Techへの輸送中もNAZEをPR「飛鳥運輸(株)」

前号で紹介しましたが、NAZEステッカーが完成し、輸送車両の側面・背面に掲示。機材輸送中でもNAZE・長岡を全国にPRしました。ドライバーの刈谷さんの協力もあり非常にスムーズな搬入出ができたことは言うまでもありません。



Topix 3

今年も盛大に長岡市交流会を開催

開催初日の6月23日の展示時間終了後、NAZEを含む「長岡モノづくりゾーン」出展社や関係者をはじめ、応援に駆けつけていただいた森長岡市長、展示会主催者の「リードエグジビジョンジャパン」の石積社長を交え、盛大に「長岡市交流会」を開催しました。

